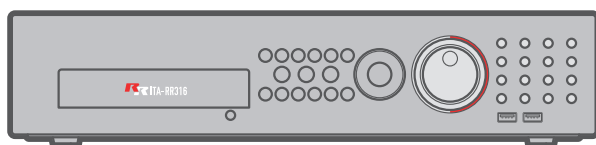




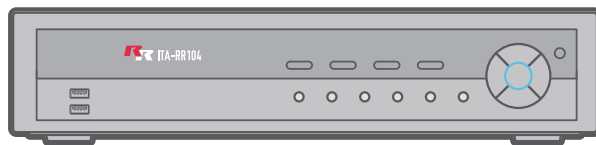
R-Line

操作ガイド

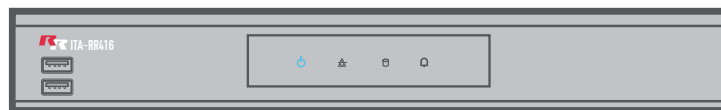
◆ 対応機種 ◆



ITA-RR316



ITA-RR104 / 204



ITA-RR416

ITA VIDEO SERVICE

R ライブモード (基本画面解説)

カメラの状態

CAM1 …カメラ番号

…録画中

…イベント録画設定中

…スケジュール録画設定中

…イベント+スケジュール録画設定中



レコーダーの状態

- 遠隔監視ソフトウェア(オプション)から遠隔操作が可能な状態
- 遠隔監視ソフトウェア(オプション)からアクセスされている状態
- HDD容量がいっぱいになると、古い録画データから上書きされていく状態

- フリーズ中
- 自動順次切替中
- 画面の拡大表示中

admin

現在ログインしているアカウント名
(初期設定=admin)

2014/01/01 12:34:56

現在の時刻

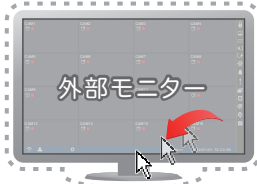
? 操作ができなくなったときは…

突然モニター上での操作ができなくなった場合、気づかないうちにモニターの切り替えを実行してしまった可能性があります。

表示しているモニター



存在しないモニター



終了



接続されていない架空の外部モニターを選択している状態です。

元の状態に戻すには、メニューバーから 終了 をクリックします。



※特殊な条件でのみ使用します。
サービスマンモードにつき、通常は実行しません。

メニューバー



ログイン/ログアウト

ユーザーのログイン/ログアウト状態を切り替えます。
※操作に制限を掛ける場合などを除き、通常は実行しません。



モニターの切替

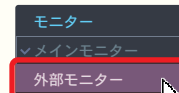
複数のモニターを使用しているとき、
操作するモニターを切り替えます。



メニューバーから

🖥️ モニター

→ 外部モニター



画面表示

各アイコンをクリックすると、カメラ映像の表示数を切り替えます。



「カメラの状態」の
表示／非表示を切り替え



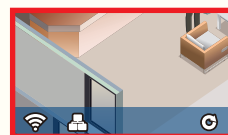
表示



非表示



「レコーダーの状態」の
表示／非表示を切り替え



表示



非表示



前／次画面へ



現在表示されていないカメラ映像へ順番に移動します。

【例】「5～8CH」表示中 ◀ 前画面へ をクリックすると、「1～4CH」へ移動する。



前画面へ



次画面へ



フリーズ

表示中のライブ映像が一時停止します。
他の操作を行うと、一時停止が解除されます。



アラームの解除

アラーム機能が発生した際に停止させます。
※アラーム機能を設定していなければ、使用しません。



緊急録画

表示中の映像を強制的に録画します。
再クリックで解除。



緊急録画を長時間続けると、HDDの容量を大幅に消費します。

設定している通常の録画内容が保存できなくなる可能性がありますので、緊急録画の乱用は避けてください。



自動表示切替

▶ 次画面への表示切替を自動的に繰り返します。
※16画面表示の際は、使用できません。



カメラメニュー

映像の拡大や色調整、グループ編集などを行います。

P.3 ライブモード (各機能解説)



検索モード

検索モード画面へすすみます。

P.5 検索モード画面



状態

設定情報を確認できます。



設定メニュー

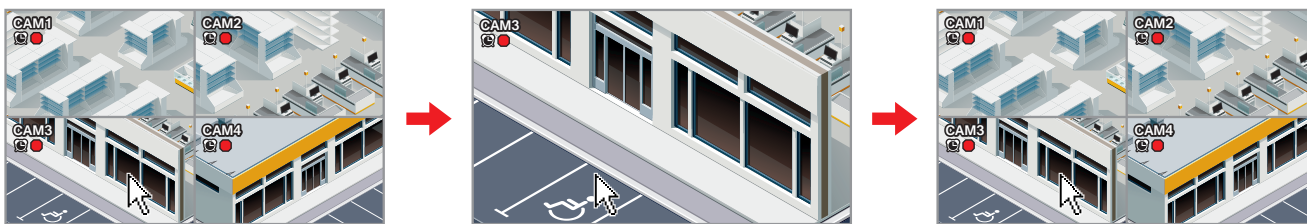
サービスマンモードに入ります。



R ライブモード (各機能解説)

■ 全画面で表示するには

分割表示画面で任意の映像をクリックすると、全画面表示になります。



分割表示画面で任意の映像をクリック。

全画面表示になります。再度クリックすると…分割表示画面に戻ります。

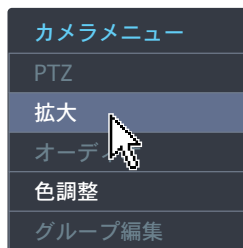
■ 映像の拡大と色調整

表示映像を編集する前に…

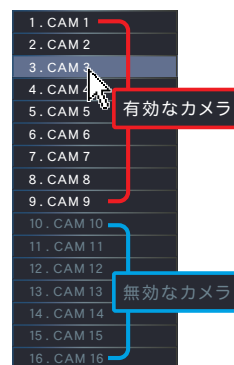
メニューバーから

📷 **カメラメニュー**をクリック。

拡大または**色調整**をクリック。

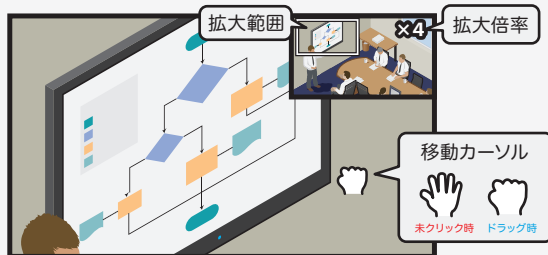


適用するカメラを1台のみ
クリック。

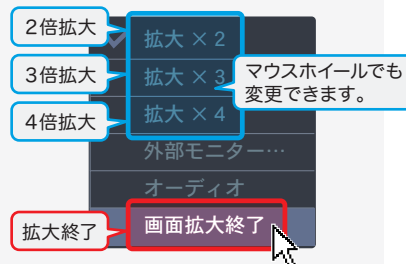


映像の拡大

画面上をクリックしながら移動(ドラッグ)すると、
拡大範囲を変更できます。



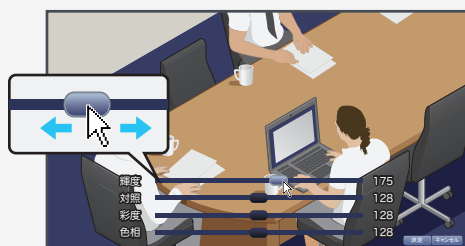
右クリックで、**拡大倍率の変更**と
画面拡大を終了できます。



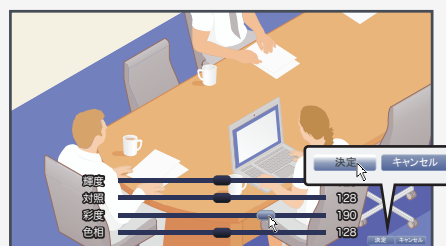
映像の色調整

※ここで設定した色調整は録画に反映されます

映像の輝度、対照、彩度、色相を調整できます。



各項目のバー上にあるボタンをドラッグ



決定をクリック

システムの再起動

ご参考



過剰なシステム負荷や長期間にわたり操作を行わなかった際に、録画などのシステム動作が不安定になる場合があります。これらの症状はパソコンなどで発生する「フリーズ」と同質のもので、再起動操作を行うことで復旧する場合があります。修理をご依頼のまえに、再起動をお試しください。

ご注意



- 「設定モード」内では「時間合せ」と「再起動」以外の操作は行わないでください。データ消失、録画解除等意図せぬ設定変更を招く恐れがあります。
- 再起動の操作処理中は録画が停止します。
- 電源プラグを抜き差しする際は、感電等に十分ご注意ください。



ライブモードのメニューから「設定」をクリック。



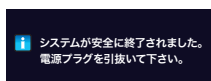
設定モードが開きます。「システム」をクリック。



「一般」タブのシステム終了をクリック。



「システム終了」をクリックし、終了が完了したウィンドウを確認してください。

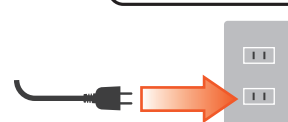


本体

本体電源プラグを抜きます。

システムの終了

システムの再起動



電源プラグを差し込むと数十秒でシステムが起動します。

システムの時計合わせ



統合管理システム「Dプラス」で運用しているレコーダの場合は「Dプラス」本体コンピュータの時計合わせを行ってください。

ご注意



レコーダの時間が実際の時間より進んでいる(時刻を戻す操作をする)場合、新しく設定した時間以降にある録画済データはすべて失われます。たとえばレコーダ時刻17:00を16:00に戻した場合、戻す前の16:00から17:00に相当する時間帯の録画データが消失します。

ご注意



- 「設定モード」内では「時間合せ」と「再起動」以外の操作は行わないでください。データ消失、録画解除等意図せぬ設定変更を招く恐れがあります。
- 商業施設等でご使用の場合は、営業時間外に再設定されることをお奨めします。

レコーダの時間表示に誤差が生じた場合、次の手順で正しい時間に再設定します。



ライブモードのメニューから「設定」をクリック。



設定モードが開きます。「システム終了」をクリック。



「日時/時間」タブの時間を指定し、保存をクリック。

R 検索モード (基本画面解説)

ライブモードのメニューバーから 検索モードをクリックすると検索画面に入ります。

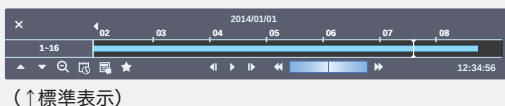


録画テーブル

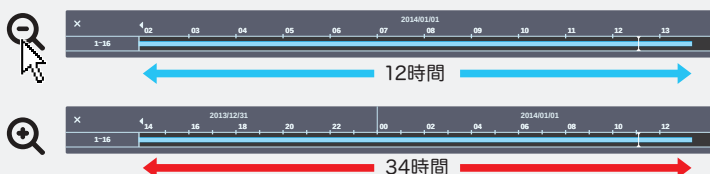


録画テーブルの詳細表示

録画テーブルを、シンプル表示/標準表示/詳細表示の3段階で切り替えます。



タイムバーの時間単位を切り替える

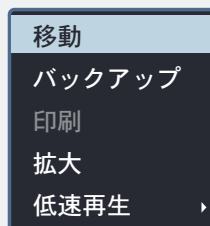


カレンダーの表示

再生したい日付をクリックすると再生画面へ移動します。



検索メニュー



移動 ▶ 移動 ▶
任意の時刻へ映像を移動します。

P.6 検索モード (基本画面解説)

移動の項目へ

メニューバー

メニューバーアイコン解説

右図のアイコンは該当頁を参照してください。

P.2 ライブモード(基本画面解説)



画面表示



前/次へ



アラーム



緊急録画



カメラメニュー



状態



検索する

- ・イベントログ検索
- ・録画テーブル検索
- ・モーション検索が行えます。

P.7-8 検索モード(検索する)



移動

メニューバーから **移動** をクリック。



- ① 最初へ
- ② 最後へ
- ③ 日時指定検索

レコーダーに保存されている、
① 最初(最古)の映像へ移動
② 最後(最新)の映像へ移動
③ 日時指定検索へ

P.7 検索モード(検索する)



ブックマーク

下記参照。

P.6 検索モード(基本画面解説)



保存

映像のバックアップを行います。

P.9 バックアップ



データベース

本書では使用しません。



終了

検索モードを終了し、ライブ画面に戻ります。



ブックマーク

設定した検索結果を登録し、呼び出すことができます。

ブックマーク

番号	タイトル	ブックマーク	チャンネル	削除
1	Bookmark1	2014/01/01 09:50:00	1-4, 7, 13-16	×
2	test	2014/01/01 12:00:30	1	×
3	Bookmark3	2014/01/01 15:00:55	3	×

+

閉じる

ウィンドウを閉じる

クリックでタイトル名を任意に変更できます

+ をクリックすると、現在表示している検索結果を登録できます。

ブックマーク名の日時をクリックすることで、選択したブックマークの再生画面が表示されます。

ご注意

「ブックマーク」は検索条件(日時とチャンネル)を保存する機能で、映像データを別途保存するものではありません。
映像データを別途保存する場合は「バックアップ」を行ってください。

バックアップ ▶

映像のバックアップを行います。

P.9 バックアップ

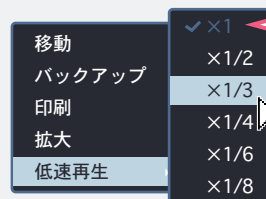
拡大 ▶

映像を拡大表示します。

P.3 ライブモード

低速再生 ▶

映像を任意の倍率でスロー再生します。



元に戻すには「x1」をクリック

R 検索モード (検索する)

検索方法の種類

検索の方法を選択して次へ進んでください。

見たい時間が
わかっている

日時指定検索

イベント録画の
リストから探す

イベントログ検索

グラフから直感的に
探したい

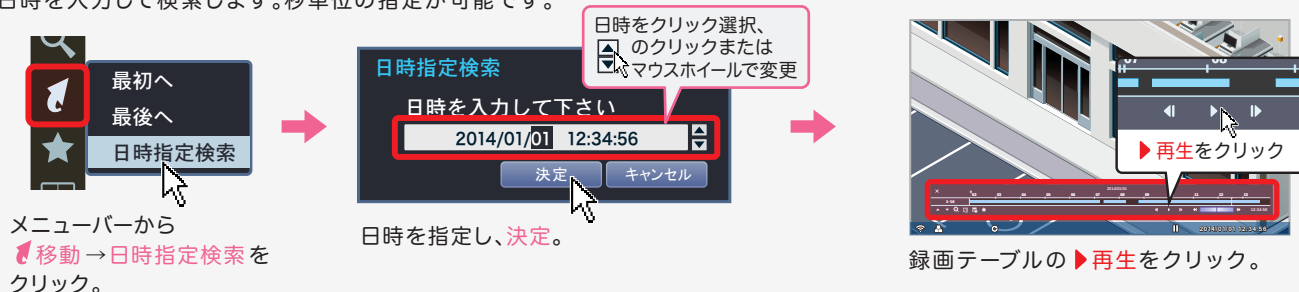
録画テーブル検索

指定した場所に動きが
あったのか知りたい

モーション検索

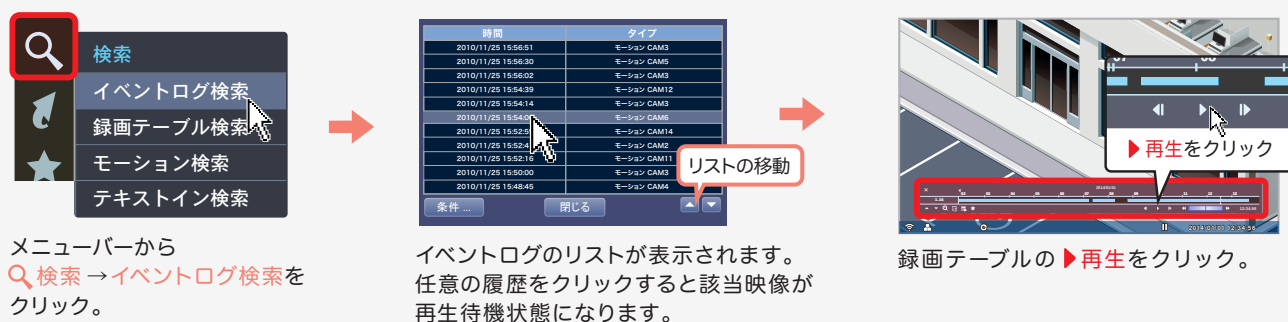
日時指定検索

日時を入力して検索します。秒単位の指定が可能です。



イベントログ検索

「イベント録画」(ライブモード時 赤い丸で録画されたデータ)の検索に適しています。



録画テーブル検索

本システムのメイン検索機能です。



モーション検索

カメラアングル内の動きや変化を検出します。特に固定カメラの映像検索に便利です。



検索したいカメラを全画面表示にします。
分割画面ではモーション検索を指定
できません。

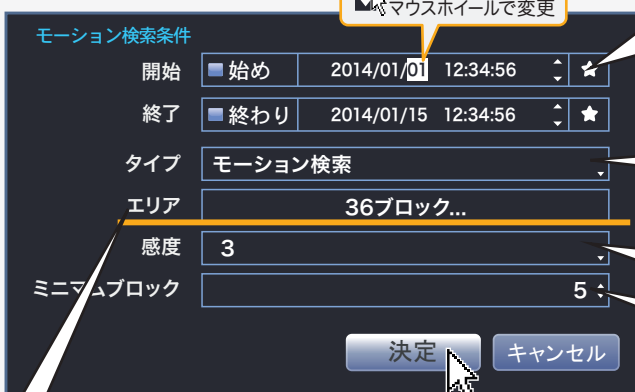


メニューバーから
検索 → モーション検索を
クリック。



モーション検索ウィンドウが開きます。
条件をクリック。

必要な情報を指定し、
決定をクリック。



日時をクリック選択、
のクリックまたは
マウスホイールで変更

検索する範囲の起点と終点を設定

始め(終わり)にチェックを入れるとレコーダーに
保存されている最古(最新)の日時が設定されます

映像の前後を比較して変化を検出する「モーション検索」と
起点の映像に対する変化を検出する「オブジェクト検索」の
どちらかを選択。

検出感度を5段階で設定します。

「モーション検索」を選択した場合、検知するエリアブロックの
最小値を設定します。(例えば「5」に設定した場合、4ブロック
以下での変化であれば検出しません)

検索するエリアブロックを範囲指定します。

必要なエリアをクリックで選択(解除)するか、
ドラッグして、選択/解除/反転のいずれかをクリック。



エリアの選択が完了したら、
右クリックで決定をクリック。



指定した条件の履歴リストが表示されます。
任意のリストをクリックし、閉じる。



録画テーブルの▶再生ボタンをクリック。



Rマックアップ



バックアップの前に…

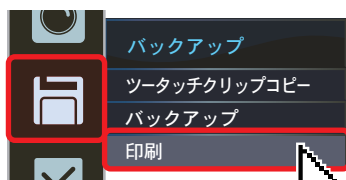
レコーダ本体にUSBメモリをセットします。



USBメモリ

FAT32でフォーマットされたもの。

静止画をバックアップする



メニューバーから
→印刷をクリック。



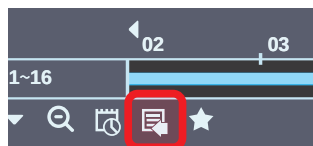
【ファイルプリンター】を選択。

・保存するサイズ
・ファイル形式
・ファイル名
以上を指定して印刷をクリック。

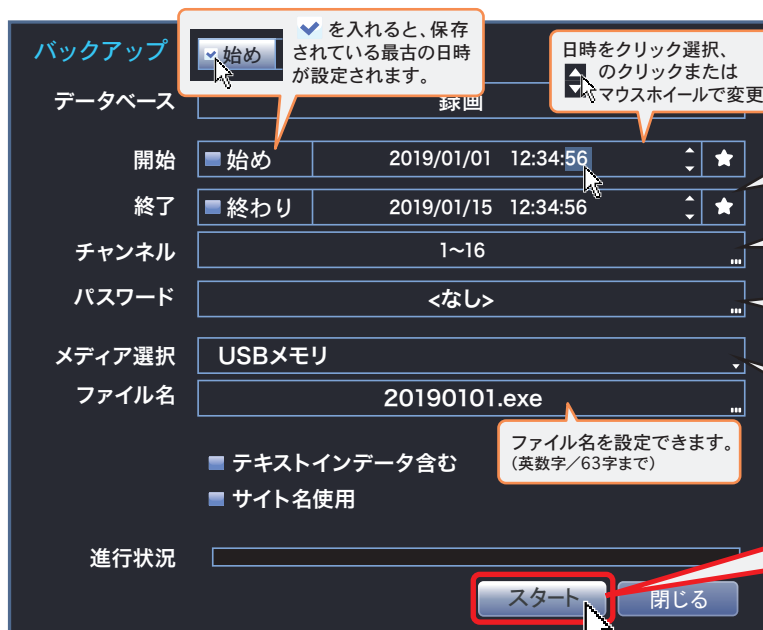
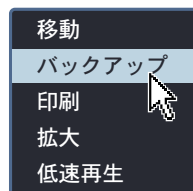
映像をバックアップする



メニューバーから
→バックアップをクリック。



録画テーブルから
検索メニュー→バックアップをクリック。



バックアップウィンドウに必要な情報を指定し、**スタート**をクリック。

※ 2GBを超えるデータは、複数のファイルに分けてバックアップされます。

バックアップするデータの開始日時と終了日時を設定

カメラCHを選択します。

任意の英数字を設定すると、バックアップした映像の再生時に、パスワード入力が必要になります。

使用するUSBメモリを選択。

必要項目を設定後、**スタート**をクリック。

(以下の確認ウィンドウが表示される場合は **継続** ⇒ **決定** をクリック)



簡易のバックアップ

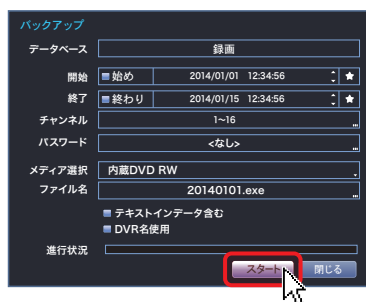
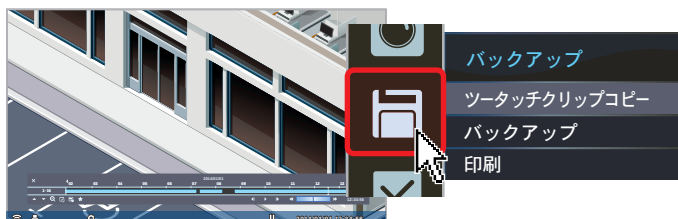
※ 本メニューでは2GBを超えるデータはバックアップできません。

P.9 ? バックアップの前に…を実行してから作業してください。

検索モードのメニューバーから
 バックアップ→**ツータッチクリップコピー**をクリック。



任意の録画映像を検索・再生し、再度
 バックアップ→**ツータッチクリップコピー**をクリック。



先ほど再生した映像範囲が指定された
バックアップウィンドウが開きます。

通常のバックアップと同様に
スタートをクリックすると完了です。

バックアップファイルの再生

バックアップファイルは一般的なウィンドウズPCでそのまま再生することができます。

バックアップ済メディア



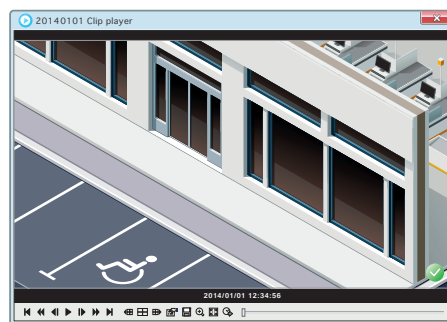
ウィンドウズPC

※バックアップ再生PCの推奨スペック
OS:Win2000以降/CPU:Pentium3 (800MHz)以上
メモリ:128MB以上/ビデオメモリ:32MB以上



バックアップファイル

ファイル名は西暦年月日かお客様が任意に設定した名称です。
拡張子が表示される場合は「.exe」です。



プレーヤーのウィンドウが開きます。
再生制御の各ボタンで操作を行います。

バックアップデータが入った記録メディアをウィンドウズPCに
セットし、任意のバックアップファイルをクリック。



- 機種や CH 数により表示内容が違ったり、対応しない機能などが一部含まれるほか、御導入のシステム構成によって、サポートされない機能などもございます。
- 改良のため、予告なく仕様・外観などを変更する場合がございます。